

## 変化する 広島の魅力

**島谷** 最近は広島に帰るたびにまちの景色が変わっていて驚きます。マツダスタジアムが広島駅のそばにできた時もですが、今度は広島駅ビルが新しくなって、路面電車が2階の構内にまで入ってきていますから。これまで周りからは「広島って中心地が駅から遠いよね」と言われていたんです。でも街中がすごく近くなった感じがします。

**市長** 広島市は広島駅周辺と紙屋町八丁堀を東西の核と位置づける

「楕円形の都心づくり」を掲げています。それはかつて軍事のまちだった広島駅周辺と商人のまちだった紙屋町八丁堀をもう一度調和させようという、歴史に基づいた試みでもあるんです。

**島谷** それは知りませんでした。

**市長** まちづくりに関しては、平和記念公園を設計した丹下健三さんが「平和の軸線」という構想を持っておられました。平和記念資料館本館と原爆死没者慰霊碑、原爆ドームを一直線に結び、今はその先に広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)がありますよね。もともと平和公園から北側のエリアは文化・スポーツ施設など

未来のための空間にする計画だったんです。ひろしまゲートパークの整備でピースプロムナードができて、ようやく平和の軸線がはっきり分かるようになりました。昨年被爆80年を迎えましたが、個人的には100年かかっても丹下さんの計画を復活させ、広島を文化都市として完成させたいと思っています。

**島谷** 事務所のスタッフの中には、市内移動もタクシーではなく路面電車を使いたいって人がいるんです。東京だと、とにかく速さが大事だけど、広島では多少時間がかかっても街並みや雰囲気を楽しみたいと。それってすごく面白いこ

とだと思うんです。今は路面電車のルートも新しくなって、駅周辺は高い場所から街を見られるようになりましたね。



## 音楽や文化は敷居が低く、 喜びや楽しさと一緒に 平和の尊さを伝えられます



歌手

しまたに

**島谷ひとみ(45)**

広島県呉市出身。オーディションを勝ち抜き、10代で歌手デビュー。2002年、モデルとしても出演したCMの楽曲「亜麻色の髪の乙女」が大ヒット。その年の紅白歌合戦に出場した。その後もコンサートやミュージカル、アルバム発表など精力的に活動。音楽などで平和を発信するイベント「PEACE STOCK80'」は、2026年は6月12～14日に開催



### 広島駅南口広場

2025年には新駅ビル・ミナモアが開業し、路面電車の高架乗り入れが実現。今最もダイナミックな変化を見せている広島駅南口エリア。2029年春の全体完成を目指し、ペDESTリアンデッキや、大屋根、南口交通広場などの整備が順次進んでいる



## 平和を 未来へ奏でる

**島谷** 今、私は自分ができることと伝えたいことを合わせた企画として「PEACE STOCK」というプロジェクトをやっています。これは“平和感の備蓄”がコンセプトで、今年は6月に「PEACE STOCK80'」を開催することが決定しています。「このイベントの回数をどこまで積み上げていけるかは私たち次第だよ」ということを訴えていきたいと思っています。

**市長** 未来という意味では、まちづくりもまだまだ進めていかなければなりません。例えば今考えているのは、平和大通りの東端にあ

る比治山公園を「平和の丘」として再整備すること。展望箇所から復興した広島を眺めてもらいたいと思うんです。あと、街中に川が6本も流れている都市は大変珍しいです。護岸を整備してSUPを楽しんだり、水の都としても発展させていきたいですね。

**島谷** 私たちが子どもの頃は、戦争や平和って膝に手を置いて真面目に学ばなければならなかったものだったと思うんです。もちろんそれも大事ですが、音楽だともっと敷居が低く、誰にでも分かりやすく伝えら

れます。しかも「戦争は怖いもの」という恐怖の力ではなく、平和がどれだけ尊いか、喜びや楽しさと一緒に知ってもらえるんです。今の私があるのは、広島というまちがあったから。今年も「PEACE STOCK」などを通して、「広島が好き!」と言ってくれる人が1人

でも増えるよう活動していきます。

**市長** 敷居を低く、というのは大事ですね。昨年「威風堂々クラシック in Hiroshima 2025」というコンサートを行いました。広島市出身の世界的指揮者・大植英次さんも「格調高く敷居は低く」と言っておられました。

**島谷** 「PEACE STOCK」には広島で歌やダンスをやっている高校生たちも参加してくれて。普段発表する場がなかなかないらしく、すごく喜んでくれています。

**市長** 特に若い人が楽しめて、自分でもやってみたいと思えるような環境づくりは大事ですね。そうしたやる気がポジティブな力になって、まち全体に広がっていくと思いますから。ぜひ音楽の力でそうした企画を実現してください。



川面から水の都・広島を満喫できるSUP体験